八中3年人権だより

徳島市 八万中学校
３年生　第22号
2021年12月13日
編集・文責　吉成正士

3年生学年全体人権学習（12月1日）第3部

これからの人生や出会う人を大切にしていきたい

■この人権学習で，今まで考えたことがなかった「人権学習」について考えて，みんなの意見を知ることができました。誰のために人権学習をしているかについて，私は，人の為と考えていたけど，２組の川上さんが言っていたように，自分の為にしたことが他の人の為になって，他の人の為にしたことが自分の為になるという考え方について，共感しました。今日の人権学習で，他の人にしたことは偽ということが出てきましたが，私は，人の為にしたことは，その人が助かっていないか，助かっているかに関係なく，人の為にしているので，偽ではないと思います。

また，この人権学習で学んだことを生かして生活したいし，吉成先生が言っていたように，生活の中でも自分の発言が良い発言なのか，人を傷つけていないかを確認して発言したり，生活したりしたいです。また，友達や家族，その他の身近な人から相談されたときは，断ったり無視したり，他人事にしないようにしたいです。でも，私がもし差別をしてしまったり，人を傷つけるようなことを言ってしまったときは，友達などに注意してもらいたいし，注意してくれるような友達をつくりたいです。今からでも，自分を変えることはできるので，自分を変えていきたいし，これからの人生や，出会う人を大切にして生きていきたいです。

4組

人は，人との関わりにおいて生きているし，成長するのだと思います。そのためにも，周りのいろんな意見や考えを知ることです。ということは，自分も意見や考えを伝えるということにほかなりません。なかなか自ら進んで手を挙げられなくても，ちょっと背中を押してくれれば，その勇気が出せたりします。きっかけは何であっても構いません。要は，その一歩を踏み出すかどうか，なのです。

感想文なんて紙が埋まればどうでもいい

■今日の話を聞いていて，私は今まで一つの考え方しかできていなかったなと感じました。結婚差別に関しても，自分がそうなって差別されて，親を説得するのだとしたらどうするのか。大人になった私は，今までの中学3年間で学習したことをどのくらい憶えているのかを考えると，そんなに憶えていないのではないかと思います。差別がいけないということはよく分かっているけど，どうしていけないのかを説明できないかもしれません。私は今まで，「感想文なんて紙が埋まれば内容なんてどうでもいいや」みたいなことを，ひょっとしたらどこかで考えていたのかもしれません。

部落差別に関係する動画やお話をたくさん見たり聞いたりしてきたけど，分からない人に言葉で伝えるのは難しいように感じます。それは今まで人に意見を言うことがあまりなかったからだと思います。もう学年全体で集まって発表する機会はないけど，間違っている人がいたら，「それはちがう」と言う勇気をもった人間になりたいです。

1組KH

「もう学年全体で集まって発表する機会はない」と，どうして言い切れますか？

29年前。同じような学習を１年間に６度繰り返してきた学年がありました。それだけの必要性があったからです。いじめがあり，差別があり，何とかそれらを解決して仲間として卒業させたかったのです。

卒業を控えた２月になって，リーダーの一人が，「もう一度だけ学年全体の人権学習をやらせてほしい」と訴えてきました。元生徒会や各クラスの担任も巻き込んで，ムーブメントが起きました。「そんな時間はとれない」と言うと，「卒業式の前日，準備や練習などに不要な時間をかけないから」と約束し，３年生全員が力を合わせ，本当に実行しました。

卒業式前日の体育館。多くの卒業生が，１年間の思いを，中学校生活の思いを，友への思いを，差別や人権学習への思いを，告白していきました。思い溢れる時間が流れました。もちろん翌日も，感動的な卒業式となりました。発表する機会がないかどうかを決めるのはあなたであり，みなさんです。

「感想文なんて紙が埋まれば内容なんてどうでもいい」と思っていた人は他にもいたかもしれません。自主勉強ノートや，生活記録もそうだったのかもしれません。あの日の人権学習もそうだったかもしれません。でも，この機会に，もうそんな自分は変えてみませんか。前述の，卒業式前日の人権学習のように，思いがあれば，変えられるものです。「どうでもいい」わけでなく，「なりたい自分」があるのなら，その必要性に気づけたなら，その瞬間からが勝負です。人は変われます。

八中で人権学習を受けられてよかった

■今日の人権学習を通して，人権について意欲的に学習し続けること，そしてそれを「発信する」ことの重要性を改めて感じさせられました。今日の人権学習で，中学校の人権学習には一区切りつくことになります。そしてこれからは，人権について本格的に学習することもあまりないと思います。しかしこれからは，これまでに習ってきたことをアウトプットすることが求められていると思います。高校，大学，就職…とステップをふんでいくなかで，おそらくほとんどの人が差別という大きな壁にぶつかると思います。その時に乗り越える原動力が，人権学習で湧きあがってきた，差別をなくしたいという思いだと思います。また，3年生が一堂に会して人権について語り合う機会が少なかったので，貴重な機会だったと思います。

卒業まであとちょうど100日。クラスをよりよいものにするため，最後にいい気持ちで卒業を迎えられるように，より一層の気持ちと主体的行動力を持ちたいと思います。八中で人権学習を受けられてよかったと思います。

6組KY

そう言ってもらえて，ありがたいと思うし，本当に嬉しいです。

入試の面接で，「中学校生活の一番の思い出は」と問われたとき，多くの人が，修学旅行や文化祭，体育祭のことを話すと言います。けど，この人権学習のことを話す人もいていいのではと思います。事実，そういう中学生を今までに何人も見てきました。

学級や学年で語り合ったこと。その中で同級生からどんなことを学び，どんなことに気づかされたか。そのことが，自分をどう変えてきたのか。変わった自分を今どう思い，これからもどう変わっていこうとしているのか。人権学習で得た学びを，高校の先生にしっかり聞いてもらうのです。人権について学ぶことのよろこびを，伝えていくのです。そんな高校生が次から次へと出てくれば，高校も，高校の先生もさらに変われるのだと思います。そんな高校が増えていけば，世の中もきっと変わります。だからみなさん一人一人は，大切な存在なのです。自分の中だけに留めるのではなく，人に伝え，人とつながり，広げていってください

私も人権学習が好きです。

■学年全体での人権学習がこれで終わりだと思うと，寂しいなと思います。今日も，もっとたくさんの意見を聞きたかったし，もっと言えることが自分にもあったんじゃないかと思いました。小学生のときと比べて，中学生，特に2・3年生では，以前よりもさらに人権問題についていろいろと考えるようになった気がしています。たくさんの人に出会ったり，知らなかったことを知ったりして，人権問題がどれだけ身近で難しい問題なのかということをこの3年間で実感しました。

結婚差別，就職差別について学習してきましたが，今の段階では，私はただ知識として差別がどんなものか，なぜいけないのかを知っただけなんだと思います。本当に未熟です。だからこそ学習しなきゃいけないんだなとつくづく思います。今回のような会があると気が引き締まります。

吉成先生が，生徒に手を上げていたという話は本当に驚きました。全くそういう風には見えなかったし，それだけ先生が先生自身の行動について，たくさん考えた上で変わってきたんだなと思いました。「人は変われる」のなら，私は変わらなければいけません。今まで身につけた知識を，いかに自分の中身にしていくのか，どんな行動をとるのか，何度も言っているけど，とにかく考えていきたいです。

最後に吉成先生がおっしゃっていたように，私も人権学習が好きです。これからもたくさんのことを知りたいと思いました。

5組AF

「あいつがやるなら私もやってみる」

ジブリアニメ「耳をすませば」に登場する，中学3年生の主人公，月島雫の言葉です。私の好きなセリフの一つです。

部落差別，ハンセン病差別，障がい者差別，在日コリアン差別，アイヌ差別，「差別」という言葉がつかなくても，厳しい差別のなか，たくましく，生き生きと，豊かに生きてきた人の生き様にふれるたびに思います。

「人としてかなわないかもしれない。
けど，同じ人間として負けたくない」

それが身近に知る人なら，なおさらです。そのためにも，私はもっと高みをめざしたいと思います。この一度きりしかない人生を，最大限に伸ばしたいと思います。そう思う自分は嫌いじゃありません。そんな思いにさせてくれたのが，この教育であり，この学習です。だから私はこれからも，人権学習にたずさわり続けていきます。できればみんなが共に歩む仲間であればうれしいです。